

中原 久子



NPO法人コチカラ・ニッポン 副代表
Office Pleasant 代表
・研修講師、ファシリテーター、コーチ、カウンセラー

＜コチカラプロジェクトの実績＞

・コチカラ × 商店街活性化@船橋市芝山団地商店街
・沖縄県西原町 高校生ソーシャルビジネス
産官学連携プロジェクト 首都圏研修リーダー
キッズデザイン賞受賞

＜子ども向け講演内容例＞

「実体験+PDCAサイクルで子どもの可能性を引き出す」
「自分で考える→自分の意見を持つ→伝える」

＜企業向け研修＞

「業務改善研修 -仕事の量から質へ-」「女性が長期的に活躍する為の研修」
「強い信頼を築くコミュニケーション研修」「接遇研修」
「チームビルディング研修」「ビジネススキルアップ研修」他多数

＜実績＞

ラオックス/日本政策金融公庫/旭洋紙パルプ/前橋赤十字病院/グラム/
船橋市立医療センター/北多摩医師会/JA千葉厚生連/ソレイユ川崎
府中さくらの杜/長久保病院/清瀬療護園/清さと病院/和田労務管理事務所
フーカースいきいきサポート/市川船橋法律事務所/他多数

＜メディア掲載＞

・株式会社日本医療企画『フェイス・スリー』2016年1月号に掲載

尾崎 えり子



NPO法人コチカラ・ニッポン 副代表
株式会社新閃力 代表取締役社長
・地方創生、女性活躍、働き方改革
・新規事業コンサルティング事業
・講演、研修事業
・サテライトオフィス事業

＜コチカラプロジェクトの実績＞

・中学生 × 部活動変革 @杉並区和田中学校
・小学生 × 農家 × 商品開発 @流山市
・高校生 × カフェ @柏・流山

＜子ども向け講演内容例＞

「すべての失敗はあなたをドラえもんにする」
「しくじり先生、私みたいになるな」

＜企業向け研修＞

「新規事業の生み出し方」「一歩踏み出す女性活躍」「女性の創業」
「時間ではない、価値の生み出し方」「地元で輝く」
「子育てを仕事に活かすプロフィールづくり」他多数

＜実績＞

JR東日本/AIG/ルネサンス/千葉県立東葛飾高校/早稲田学院高等学校/桐蔭高等学校/クラーク
国際記念高等学校/東京都立府中東高等学校/聖徳大学附属取手聖徳高等学校・中学校/
千葉県流山市/千葉県習志野市/千葉県銚子市雇用創造協議会/長野県上田市/他多数

＜イベント登壇＞

「働き方改革と女性活躍」（主催：日本マイクロソフト）
「WORKO! 2016」（主催：朝日新聞社 協賛：野村不動産）
「ワークスタイル変革最前線」（共催：野村不動産×東洋経済新報社）
「働き方を考えるカンファレンス2017」（主催：at will work 協賛/経済産業省）

林田 香織



NPO法人コチカラ・ニッポン 理事
NPO法人ファザーリング・ジャパン理事
ロジカル・ペアレンティングLLP代表
・講演、研修事業

＜コチカラプロジェクトの実績＞

・Go Go Gohan × HIROTA

＜子ども・PTA向け講演内容例＞

「男の人の仕事？女の人の仕事？」
「ダイバーシティについてかんがえよう」
「イマドキ父さんとイマドキ母さん」
「ゴールはいくつも！道もいろいろ！」

＜企業向け研修＞

「イクボスセミナー」「今、何故イクボスか」「夫婦で叶えるキャリアとライフ」
「上司と子育て中の部下 お互いのWANTS を把握しよう！」

＜実績＞

船橋市/八潮市/野田市商工会議所/千葉市/神奈川県/静岡市/実践女子大/筑波大学
跡見大学/千葉大学/千葉県男女共同参画センター/他多数

＜著書＞

NPO法人ファザーリング・ジャパン
『ママの仕事復帰のために パパも会社も知っておきたい46のアイディア』
労働調査会（共著：第4章担当）
『新しいパパの働き方』学研（執筆協力：コラム担当）
『新しいパパの教科書』学研（執筆協力：第2章担当）

研修のゴール

個性を活かした働きやすい環境・暮らしやすい社会を自分たちでつくる
～子どもに、同僚に、後輩に、部下に相手を活かす関わり方ができる～



プログラム例

対 象 者 : 全社員、リーダー
研修時間 : 5時間 (2時間、3時間等、現状やご要望に合わせたプログラムを作成)

学習項目	学習のポイント ※●：講義にて理解、○：演習にて理解する項目	手法
1.オリエンテーション	●講師紹介 ●研修のゴール ○受講者自己紹介 仲間を知ろう	講義 グループワーク
2.役割認識	○●組織の一員・社会の一員という事の理解 職場環境の現状認識 子ども社会の現状認識 子ども社会は関係ない?本当に? 自分の子ども、地域の子どもたちは個性を活かして育てているか? ○●人の話を聴いている? 自分の意見をもっている? 子どもP.Jの例 相手に耳を傾ける・自分の意見を持ち伝えることから始まる	グループワーク・講義 グループワーク・講義
3.自己受容・他者受容	○タイプ別行動特性 違いを知ろう 自分や仲間のタイプを知る 家族のタイプは? まずは予想して家庭でテスト ●診断結果の解説 チームで仕事をする意義を理解する	個人ワーク 講義
4.相手を活かす関わり方	○タイプに合わせた声掛け 「ワークシート」 ロールプレイ ●解説 家庭で地域で子どもや相手を活かした声掛けを意識する	個人ワーク グループワーク 講義
5.まとめ	○研修で気づいた事、明日から実践する事、1年後の自分 ●自分と違う他者を受け入れ、そして活かし、働きやすい環境・暮らしやすい社会を自分たちの手で作り上げていこう	個人ワーク 講義

研修のゴール

D & I 体制を創り、業績へ社会へ貢献する
～ ダイバーシティ人財の育成と活用から成果へ繋げる ～



プログラム例

対 象 者 : 管理職

研修時間 : 1日 (2時間・3時間・5時間) × 1回～複数 (現状やご要望に合わせプログラムを作成)

学習項目	学習のポイント ※●：講義にて理解、○：演習にて理解する項目	手法
1.オリエンテーション	●講師紹介 ●研修のゴール ○受講者自己紹介 視点の違いを認識する	講義 グループワーク
2.D & I の認識を合わせる	○共通目標は何ですか？ ○誰をWinにしていますか？ ○D & I の捉え方と必要性 子どもの視点を取り入れた成功事例 ●D&Iの認識を合わせる 企業・個人・社会の成長 (企業間同志のWin-Winだけでは生き残れない) 部下に広い視野を持ってもらう Lifeの充実とWorkを繋げる	個人ワーク 個人ワーク グループワーク 講義
3.D & I の土台はあるか	○●自分の部署の現状は？ 現状を正しく把握していますか？ 社会の現状は？ 地域や家族の現状は？ 視野が狭くなっていませんか？ ○●部下の話が聴けてますか？ 聴いているつもりになっていませんか？ 子どもの話し、家族の話しが聴けていますか	個人ワーク・講義 グループワーク・講義
4.企業目的達成の為に	○企業目的達成の為に役割認識 強み弱みを活かしたチームビルディング ●本当にダイバーシティが必要か？ 子どもたちの強み弱みが必要なかった例	グループワーク 講義
5.組織・PJ成功の フォーメーション	●資質、才能を活かしたフォーメーション。 関わり方。 適材適所の配置になっているか？ 人財が活かされているか？ 自分の部署を振り返る。 子どもの本来持っているチカラを活かそう	講義
6.まとめ	○気づいた事、明日から実践する事、1年後、3年後、5年後を宣言 ●人財の育成と人財の活用で成果を出す組織・社会をつくる	個人ワーク 講義

研修のゴール

- ・イノベーションの基礎を知る
- ・新規事業を生み出しやすい環境を作る
- ・子育てをしながら働くことにモチベーションが上がる



プログラム例

対 象：新規事業開発/企画部署、リーダー・管理職、育休中の、育休取得中、
復帰前後の社員を対象とした研修も可能
研修時間：半日研修または、終日研修

学習項目	学習のポイント ※●：講義にて理解、○：演習にて理解する項目	手法
1.オリエンテーション	●講師紹介 ●研修のゴール ●イノベーションとは。	講義 グループワーク
2.アイスブレイク	○「なぜ、バイキンマンはドキンちゃんに逆らえないのか？」（予定） チームで子育て中によく見るアニメやおもちゃについて「なぜ？」と考えてみる。 日常から「当たり前を疑う」練習を行う。	グループワーク
3.ステップ1 「要素を増やす」	○子育て中に感じた課題を出し合う 会社で働いているだけでは気が付かない、子育て中に感じるモヤモヤや壁を出し合って 課題を共有する。（行政・近所・保育園・学校・地域・病院・家庭）	グループワーク
4. ステップ2 「組み合わせる」	○ステップ1で出た課題を自社の持っている資産でどう解決するか考える。 課題×（顧客・ノウハウ・インフラ・ブランド・商品・資金・人的リソース・データ） 自社のことをよく知る、新規事業の生み出し方を学ぶ。	グループワーク 発表
5.まとめ	●イノベーションとは？ ●明日からできる「子育てしながらイノベーションの基礎力を鍛える方法」	講義

On the Life Training (OLT) : ライフ&ソーシャルは最高のイクボス研修だ！



研修のゴール

- 育休を取得する意義やベストな取得のタイミングと期間を知り、戦略的に育休取得を考える
- 育休取得を最高のOLTと位置づけ、子供との関わりがどのように仕事や人生に生きてくるかを理解する
- 両立体制の構築や子供との関わりを通して、仕事にも役立つリーダーシップやマネジメント力を養う

プログラム例

対 象：育休取得を予定、または、検討している男性社員・女性社員、その上司、ダイバーシティ推進担当者
「両立体制構築」は、育休取得中、復帰前後の社員を対象とした研修も可能。

研修時間：120分程度の半日研修または、300分程度の終日研修。

学習項目	学習のポイント ※●：講義にて理解、○：演習にて理解する項目	手法
1. はじめに	● 講師自己紹介 ● 研修のゴール ● OLTとは？ ○ グループ毎に自己紹介。	講義 グループワーク
2. 導入	● 社会的背景の説明 ● 親アイデンティティの形成=個人の中のダイバーシティ形成 ● ライフとワークの相互作用：ポジティブスピルオーバーとネガティブスピルオーバー	講義 ワーク
3. ワーク1 「育休取得戦略ワーク」	○ 「我が家の育休取得戦略ワーク」 ワークシートを用い、出産予定月、里帰りか否か、復帰時期、保育園の入園時期、夫婦それぞれの仕事や生活の状況等の項目を元にそれぞれの家庭にあった育休取得タイプを検討。 グループでシェアすることで、育休取得の目的を明確化する。	ワーク グループディス カッション
4. ワーク2 「両立体制構築ワーク」	○ 「我が家の両立体制構築ワーク」 ワークシートを用い現状把握、および、両立体制の理想を可視化を行う理想を実現するために家庭内外とどのように連携してくかを具体的に考える。	ワーク グループディス カッション
5. まとめ	● 両立体制構築 = 子供も家族の一員として活躍できる土台作り ● 子供の生きる力を育むために オプション：我が家のファミリー・ミッション・ステイトメント（家訓）の作成と発表	講義

「コチカラ・ニッポンについて」

KoDikaraNippon

NPOコチカラ・ニッポンとは？

子どものチカラを借りて、企業や地域、家庭などが輝く。仕事や地域、家庭の場で大人に役立つことを通じて、子どもは伸びていく。この「子どもと大人の双方向性」により、“実践を伴った子ども教育”と、“企業や地域などの発展”という2つを同時に達成することが、当法人の活動目的です。大人向けキーワードは「子どものチカラを信じよう」、子ども向けキーワードは「自分のチカラを信じよう」。

<概念図>

子どもが得る効果

実社会に参画し、地域や企業の役に立つことを通じて、子どもは、次のような能力を伸ばすことができる。

やる気、自信、夢や希望、役に立っているという意識
自分で考え行動する力、考える力、伝える力、聞く力
協調性、多様性、論理力、行動力、学習意欲
そして、子どもだからこそそのチカラ（コチカラ）

コチカラとは、斬新な創造力、好奇心、無邪気な視点、
既成の枠にとらわれない発想力、工夫する精神、
素直さ、不思議に思う心、あり余るエネルギーなど

実社会で「子どものチカラ」を発揮

子ども
小学生
中学生
高校生
大学生

例えば、
・地域：商店街の活性化、特産品の販売
・企業：新商品の開発、広告宣伝
・家庭：家事（お手伝いではなく主体者）

実社会

企業、地域
商店街（街）
家庭など

実社会での「教育機会」を提供



大人（企業、地域、家庭）が得る効果

↓ 企業

↓ 地域

売上げアップ、仕事に役立つ、など

将来の顧客拡大 子どもの愛郷心向上

社内の活性化 地域の活性化

社員の人材教育 異世代間交流

企業や地域の広告・宣伝

「子ども教育」という社会貢献

得る可能性が高い

コチカラ事業

事業名称	説明
コチカラ コンサルティング	子どものチカラで商品開発/販売活動する。一例として、小学生考案の「お米のシューアイス」を、全国ブランド「ヒロタ」が商品化、同社で過去最高の売上げ達成。
コチカラ 地方創生	子どものチカラで、地域を活性化する。一例として、沖縄県西原町で行政・大学・地元企業を巻き込み、地元の特産物と東京都内で販売を実施。今までにない地方創生となる
コチカラ農業	作付、収穫、商品開発、PR、販売などで一連を子ども達が主体的に関与。第一弾として、「子どもが考えた米袋」によるお米のPR・販売。
コチカラ M B A	企業のファミリーデーやCSR活動の一環で実施。一例として、NTTデータ様のファミリーデーで、流通小売業のビジネスモデルを説明、課題解決ワークを通じて実践的な学びを提供。
コチカラ スクール	子ども達が、放課後の時間を使って地域の課題を解決。解決のための手法を現役社会人（社長など）が実践教授。実践型 x ビジネス思考を学べるアフタースクール。



川島 高之

NPO法人コチカラ・ニッポン / 代表
NPO法人ファザーリング・ジャパン / 理事
小学校・中学校（元）PTA会長
（元）三井物産系の上場会社 / 社長

<講演テーマ>

イクボス、イクボス式教育、ワークライフ
バランス、子どもの自立、子どものチカラ
、PTA、地域活動（イクメン）。子ども向
け・大人向け共に可

受託/メディア実績

<受託実績>

行政； 宮城県、神奈川県、川崎市、名古屋、福岡県
学校； 早稲田大学、千葉大学、神奈川総合高校、
中原中学校、自由学園、など
民間； 三菱商事、NTTデータ、ヒロタ、複数の商店街、
学習塾、学童施設、その他多数

<メディア実績>

日経新聞、読売新聞、朝日新聞、産経新聞、東京新聞
AERA、プレジデントファミリー、NHK、TBS、フジTV、
TOKYO FM、その他多数

AERAの「日本を突破する100人」に、当法人の活動
と、代表の川島が選ばれました。また、PHP研究所か
ら代表川島の単著「いつまでも会社があると思うな
よ！」が、発売されました



法人概要

<名称>

NPO法人 コチカラ・ニッポン（法人登記：2012年5月7日）

<連絡先>

（住所）東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだろプラットフォーム #1178

（Mail）info@kodikara.org

（HP）<http://kodikara.org/>

（FB）<https://www.facebook.com/kodikara.nippon>

<代表>

川島 高之（かわしま・たかゆき）
NPOファザーリング・ジャパン 理事、小・中PTA会長

<副代表>

中原 久子（Office Pleasant 代表）
尾崎 えり子（（株）新閃力 社長）
小林浩一（日本メディアリテラシー教育推進機構 事務局）

<理事>

安藤 哲也（NPOファザーリング・ジャパン 代表）
林田 香織（ロジカル・ベアレンディングLLP 代表）
八坂貴宏（office YASAKA 代表）
大森光太郎（K-PHOTO 代表）
小田桐正治

<顧問>

島 桜子
（一般社団法人チャレンジド・クリエイティブラボ 代表理事）